

防災訓練の様子



安全・安心な暮らしを

火災や自然災害などから市民の生命と財産を守るため、身近な地域の消防体制を支える消防団の充実強化を図り、消防署や関係機関と連携しながら、消防力の強化に取り組んでいます。

特別警報級の暴風や大雨などに備え、市民との防災訓練を実施するとともに、「防災マップ」を配布し、「自らの命は自らが守る」という意識の徹底や災害リスク、避難行動の理解促進に努め、地域防災体制の充実や防災意識の高揚を図るため、自主防災組織の結成育成や防災知識の普及啓発を行っています。また、災害時の非常食や飲料水、衛生用品などの備蓄品の確保に努めるとともに、備蓄倉庫などの施設の整備にも取り組んでいます。

さらに、警察や関係機関・団体と連携し、広報、各種啓発活動を行いながら、交通事故や犯罪のないまちづくりの推進に取り組んでいます。

防災行政無線の継続的な維持管理を行い、防災ラジオの普及促進やSNSなどの情報媒体の活用を行うなど、防災・防犯情報伝達体制の充実に努めています。



安全・安心まちづくりキャンペーンのパレード



各世帯に配布された「防災マップ」